

## 関東支部の経済状況の現状と予想

### 関東支部の収入案

平成 30 年度の関東支部の収支を明確にするため、本部会費、繰越金を収入欄から除いて表示した。  
B 案は大会を独立採算で実施するので、大会費も除き支部会費のみ（実際の運営資金）

| 科 目    | 収入金額 A           | 収入金額 B           | 摘 要             |
|--------|------------------|------------------|-----------------|
| 支部年会費  | 1,401,600        | 1,401,600        | 会費 8760*160     |
| 年次大会費  | 320,000          |                  | 2000*160        |
| 支部懇親会費 | 300,000          |                  | 会費 7,000 円徴収、祝儀 |
| 利息     | 10               |                  |                 |
| 雑収入    | 30,000           |                  |                 |
| 合計     | <b>2,051,610</b> | <b>1,401,600</b> |                 |

### 支出案

支出内訳も同様に本部支払いを除外した。B 案は大会関係費を除く

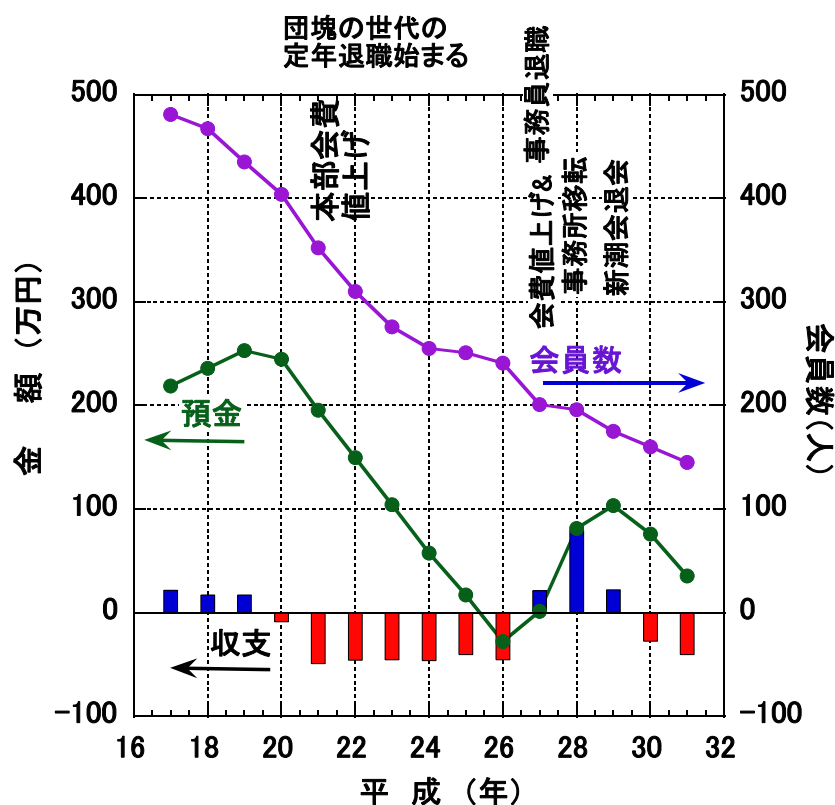
| 科 目      | 支出金額 A           | 支出金額 B           | 摘 要          |
|----------|------------------|------------------|--------------|
| 事務所使用料   | 672,000          | 672,000          | 家賃           |
| *人件費     | 120,000          | 120,000          | 1 万円/月       |
| 年次大会費    | 320,000          |                  | 磯投げ、秋季、納竿    |
| *交通費     | 110,000          | 110,000          | 事務員の通勤費      |
| 通信費      | 125,000          | 125,000          | 電話、ネット       |
| 事務用品費    | 55,000           | 55,000           | コピー用紙        |
| 印刷費      | 25,000           | 25,000           | 封筒           |
| 慶弔費      | 80,000           | 80,000           | 東日本、神奈川県支部祝儀 |
| 賞品費      | 50,000           |                  |              |
| 会議費      | 40,000           | 40,000           | 表彰式会場費       |
| *広報費     | 73,656           | 73,656           | ホームページ       |
| 仕入れ費     | 15,000           | 15,000           | バッヂ          |
| リース費     | 84,240           | 84,240           | コピー機         |
| 支部総会費    | 450,000          |                  |              |
| 雑費       | 5,000            | 5,000            |              |
| *日釣振会費   | 20,000           | 20,000           | 会費           |
| *ハゼ補助    | 15,000           |                  |              |
| *振り込み手数料 | 6,000            | 6,000            |              |
| 予備費      | 60,000           | 60,000           |              |
| 合計       | <b>2,325,896</b> | <b>1,490,896</b> |              |

この平成 30 年度予算 A 案では **274,286 円** の赤字である。

30 年度末には当初の繰越金 = 1,033,218 円が **758,932 円** に減少。（\*印の項目の合計 = 33 万円）  
大会を独立採算で実施できれば、**9 万円** の赤字で済む。

## 会員、預金の減少の様子と単年度の収支のグラフ

H30年（収支案）、H31年（会員145名と収支案）は予想である。



平成 31 年度には会員が 145 名になるとして計算すると、赤字は 404,800 円、預金は約 35 万円に減少し、さらに平成 32 年には預金もゼロとなる。何らかの対策が必要となる。  
平成 31 末には平成 26 年度末の状況と同様になる。

### ● スリム化の具体例

言葉では簡単に言えるが、磯連 60 年の歴史を無視した苦渋の決断（鯨やイルカの肉で育った磯連古参会員の創った伝統は時代遅れと切り捨てる）が必要である。

- \* 人件費、交通費の削減（超ブラック団体だから当たり前、東京都の最低賃金は時給 958 円）
- \* ホームページ閉鎖、ネット接続中止（IT 難民だらけの超アナログ団体には必要ない）
- \* 事業の見直し（参加者 30 名程度のハゼ釣大会は使命終了、人材難から役員の負担になるだけで、一部役員の自己満足）
- \* 競技魚種の見直し（釣り人数名のシロギスを中止。全磯連会費を払うくらいなら東京湾シロギス船釣りに 3～4 回行った方がいい。シロギス釣りは数釣り志向なので磯連の大物釣り志向とは相容れない。これは新潮会の会員高齢化による退会が暗示している）
- \* 検量所の見直し（最近 5 年間利用実績のない検量所を閉鎖する。現在の半分以下にして事務業務・経費の削減をする）

### ● 最終決断の図示

